

令和6年度 国語科 授業改善推進プラン

台東区立忍岡中学校

	児童・生徒の実態を踏まえた課題	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・要点や言葉の意味を正しく理解し、文章を読み取ること。 ・自分の考えを明確にして、文章に表現すること。 ・漢字を正しく読んだり書いたりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成に注目し、筆者の意見や主張を正しく読み取る力。 ・自分の思いや考えを表現する力。 ・漢字を正しく読んだり、書いたりする力。 ・慣用句等の基本的な語彙力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章構成や比喻表現、接続語に注目するよう、読み取る際のポイントを繰り返し指導する。 ・自分の考えを5行感想等、文章でまとめる機会を単元ごとに設定する。 ・毎時間の授業の初めに小テストを行い、漢字の基礎力を定着させる指導を行い、単元毎の新出漢字は間違えやすい漢字のポイントを繰り返し確認する。辞書を活用させる。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや根拠が明確になるように、構成を考えて書くこと。 ・話の内容を正しく捉え、自分の考えをまとめること。 ・漢字の部首について理解すること。 ・古典的な文章において、古文の単語やリズムに親しみながら文章の内容を把握すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読み取った内容を明確にし、2段落構成で文章を書く力。 ・「読む」ことにおいて、全体と部分の関係に注目しながら内容を捉える力。 ・部首に注意し小学学習漢字を正しく書く力。 ・古文の単語やリズムに慣れ親しみながら必要な情報を読み取る力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT 機器や板書を活用しながら、文章に内容を視覚的に整理し、内容を正しく読み取らせ、書くことにつなげる指導を行う。 ・毎時間の授業の初めに小テストを行い、漢字の基礎力を定着させる指導を行う。 ・古文を繰り返し音読させることで、文章と内容のつながりが明らかになるよう指導する。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的文章や説明的文章の内容を正しく読み取り、要約したり要旨や要点をまとめたりすること。 ・話し合いや文章に書かれていることに対して、自分の意見や考えを文章として適切に表現すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見と根拠、具体と抽象などの関係について理解する力。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開の仕方などを捉える力。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめ、表現を工夫する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の中で意見と根拠、具体と抽象がどのように関連付けられているかに注目して読むよう指導する。 ・段落の構成に注目し、接続語など読み取る際のポイントを繰り返し指導する。 ・グループでの討論と全体での共有を基に様々な考えに触れさせ、それに対する自分の考えをまとめさせる指導を行う。

令和6年度 社会科 授業改善推進プラン

台東区立忍岡中学校

	児童・生徒の実態を踏まえた課題	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校で習得する内容の理解が不十分であること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら学び、知識を深めようとする能力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書に即したプリントを単元ごとに解かせ、意識を高めて学習意欲につなげる。 ・授業の中で説明を問う発問を吟味し、発表させる。発表の段階で、自分の考えとの相違を確認させる。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の地域についての内容が理解できていないこと。 ・各時代の知識が混乱し、内容の定着が不十分であること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・統計やグラフを読み解く能力。 ・単元ごとの内容をまとめる力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとに配布するプリントで確認作業を行う。 ・統計やグラフを読み解くための練習問題で、比較や推移のポイントを発見させる。 ・各時代別をカテゴリー別の年表を活用し整理する。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・知識の概念的理解を、文章で表現すること。 ・世界の出来事に興味関心をもち、主体的に学習に取り組むこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを文章で表現する力。 ・世界へ目を向け、主体的に学習に取り組む力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できる限り、教科書の最後にある、記述問題を取り入れる。 ・新聞記事などを提供し、生徒が主体的に学習に取り組む姿勢を育む。

令和6年度 数学科 授業改善推進プラン

台東区立忍岡中学校

	児童・生徒の実態を踏まえた課題	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な内容の定着に向けて、繰り返し取り組む習慣が十分に身につけていないこと。 ・数学的な表現を用いて、解き方を説明すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・間違えた問題に対して、なぜ間違えたのかを自分なりに分析して、自己調整する力。 ・既習事項を活用して、論理的に説明する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テストや単元テストの後に、毎回解きなおしレポートを実施し、振り返る習慣を身に着ける。 ・答えを求めるだけでなく、解き方の過程をノートに書かせる。また様々な考え方ができる問題を行い、生徒が発言できる授業を展開する。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な内容が十分に理解できていない。 ・式の活用などの、文字を使って説明すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な知識・技能の定着。 ・数学の用語や記号を用いて、考えを表現する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数習熟度別授業を活かし、理解不十分な生徒に個別に指導できるようにする。 ・生徒同士が教え合う場を設け、数学的表現を使って説明する時間を作る。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・数学的な表現を用いて説明することができるが、全国学力・学習状況調査において、全国平均を15%以上下回っている。 ・基礎的な内容の理解が十分でないこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図、表、式、グラフ、数学の用語・記号などの数学的な表現方法のよさを意識して、意欲的に、自分なりの表現方法で筋道を立てて分かりやすく説明し伝え合う力。 ・数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的な思考力や表現力を必要とする問題では、何を問われているかを確認するなど、問題を丁寧に扱い、考えさせる授業を行う。 ・少人数習熟度別授業を活かし、理解不十分な生徒に個別に指導できるようにする。

令和6年度 理科 授業改善推進プラン

台東区立忍岡中学校

	児童・生徒の実態を踏まえた課題	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
1年	<ul style="list-style-type: none"> 文章や図から情報を抜き出し、得た情報を基に問題を解くこと。 授業で学んだ用語を理解し、別の用語との関連性を見出すこと。 授業で学んだことを踏まえて、論述問題を解くこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章や図から必要な情報を読み取る力。 用語と用語の関連性を意識し、科学現象の連続性を見出す力 得た情報を基に、自分の考えを文章で表現する力。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業内容の振り返りとして、文章や図から情報を読み取る問題に取り組ませる。 用語の関係性を、図を用いて視覚的に理解させ、自分で整理させる。 科学現象について考える時間を設け、自らの考えを文章で表現させる。
2年	<ul style="list-style-type: none"> 文章や表、グラフから情報を抜き出し、得た情報を基に問題を解くこと。 公式の意味を理解して、計算問題を解くこと。 学習した内容を基に、自分で課題に取り組み、課題に対する自分の考えを表現すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章や表、グラフから情報を読み取る力。 実験観察や論述問題などで、科学現象を論理的に思考し自分の考えを表現する力。 学習した内容を基に、日常生活で見られる科学現象を考え、探究する力。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業内容の振り返りとして、文章や表、グラフから情報を読み取る問題に取り組ませる。 論理的な思考力を伸ばすために、実験の考察に取り組ませたり、科学現象を自分の言葉で表現させたりする。 学習する内容と日常生活を結び付けられる授業展開を行う。
3年	<ul style="list-style-type: none"> 課題に対し、仮説を持ち、解決する方法を考え、課題を解決し、その過程を文章で表現できるようにすること。 興味・関心をもち、常に意欲的に学習に取り組めること。 学習した内容を基に、主体的に日常生活の科学現象を考えられるようにすること。 	<ul style="list-style-type: none"> 化学実験や物理実験において、課題を明確にし、その解決方法の実験より、データを分析し、課題解決を文章で表現できる力。 遺伝の仕組みや地球の外で起きていることをイメージできる力。 実験器具、装置を正しく使うことができ、興味や疑問をもったことの解決に役立てることができる力。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業で本時の課題を明確にし、様々な考えを発表させ、そこから新たな発見をもたせ自分の考えをまとめさせる。 具体的なイメージがもてるように ICT 機器を活用するなど教材の工夫を行い、主体的に学習に取り組む環境をつくる。 科学的思考を高め、「分かった」という達成感を与えられる指導の工夫を行う。

令和6年度 英語科 授業改善推進プラン

台東区立忍岡中学校

	児童・生徒の実態を踏まえた課題	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な文字や単語を聞くこと及び読むこと。 ・身近な事柄について英文を書くこと。 ・英語の質問を聞き取ること及びそれに答えること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音と文字をつなげる認識。 ・日常的な行動を表すことができるようになるための基礎的な語彙力。 ・日常的な行動や、人やものの特徴に関して質問したり、答えたりすることができる力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書き込み形式の教材でアルファベットの書き方を定着させる。 ・授業での帯活動として音と文字の繋がりの学習を行い、音の足し算の定着を図り、自分で読み方を推測できるようにする。 ・授業における語彙学習やドリルを家庭学習とつなげ基礎的な表現の学習を定着させる。 ・ペア活動を通して口頭での学習を行い、ドリルで文字による確認を行う。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な語彙の習得。 ・身近な事柄について、感想や周辺の情報を加えて英文を書いて伝えること。 ・英語の質問を聞き取ること・読み取ること、及びそれに答えること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙力の伸長。 ・英語の語順を用いて表現できる力。また、その中の一部の情報を接続詞や不定詞などを用いて詳しく伝える力。 ・英語の質問に、正しく応答する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・口頭活動から筆記活動を連動して行う。 ・表現活動や英作文を定期的に行い、英語の語順を身に付けさせる。 ・口頭試問及び、読解から英語の質問に答える機会を毎回の授業で取り入れる。
3年	<p>・区学力調査の結果から、主体性や思考・判断・表現に関わる問題の正答率は区平均や全国平均を上回っており、順調に力を伸ばしていることがわかる。一方、知識・技能に関わる問題は区平均・全国平均共に下回っており、語彙などの知識面に課題があることがわかる。</p>	<p>・知識を総合的に活用するような活動を取り入れることで、表現力の育成は進んでいる。今後、語彙を広げ、語形や語法の知識を増やすことで、さらに表現の幅を広げ、自ら発信することのできる人材の育成を目指す。</p>	<p>・主体的に学習に取り組むことができる学習形態を取り入れるとともに、それらの向上を可視化するための筆記・実技テストを定期的に取り入れ、定着を図ることができるようにする。</p>